



フードバンク・フードドライブについて ~新しい食の流通~

フードバンク

十分安全に食べられる食品を廃棄するのではなく、企業や販売店からその食品を寄付していただき、食べ物を必要としている人たちや、サポートしている団体等に提供し活用する活動です。

フードドライブ

個人の家から食品を寄付していただき活用する活動です。



安心して自分らしく生活できる地域社会をめざして

現在、日本では安全に食べることができる食品が 643 万トン（2016 年度農林水産省）も廃棄されており、その約半分が家庭から出ているといわれています。その一方で子どもの 7 人に 1 人が相対的貧困状態にあるといわれており、全国で子ども食堂等の活動が広がっています。

「フードバンク・フードドライブ活動」は安全に食べることのできる食材を有効に活用することにより、食品ロスの削減を図るとともに、食品の支援を必要としている人たちと「食品」をつなぎます。また、家庭や企業からの廃棄量を減らし、CO₂の発生を少しでも抑えることで地球環境の保全に貢献できます。

このような活動の普及を通じて、より良い食の循環の構築を行うことにより、助け合い社会の実現をめざしていきます。



